

編 集 後 記

2018年1月時点で日本神経学会正会員数は8,686名、そのうち専門医は5,753名だそうです。日本の総人口は127,094,745人(2016年)ですので、神経内科専門医1人当たり22,092人をカバーしていることとなります。米国でもほぼ同様に神経内科専門医1人当たり2万2千人の人口をカバーしています(人口は国連報告、専門医数はABPNサイトによる)。アジア圏では、情報が得られた範囲で、台湾や韓国が2万人台、パキスタン10万人、インドネシア17万人、フィリピン19万人、タイ22万人、マレーシア44万人、スリランカ53万人、ラオス118万人です。ざっくりと、日本はタイの10倍、マレーシアの20倍、ラオスの50倍神経内科専門医が多いと言えます。ちなみにラオスでは、人口691万人に対して神経内科医は4人しかいません。

このように多くの神経内科医を擁する日本では、一般神経内科診療以外にも様々な活動を行う事ができます。サブ

スペシャリティを持つことはもちろんのこと、研究や教育を行ったり、製薬に関わったり、行政に関わったり、様々な選択肢があります。私は筋疾患研究に特化した仕事をさせて頂いていますが、このような仕事ができるのも多くの神経内科専門医がいるからこそと思います。若い先生方には、是非、この恵まれた環境を活用して、神経学発展と医療向上に積極的に関わって頂きたいと思います。その第一歩が、臨床で経験した症例をしっかりと記載し報告することです。診療は患者さんへの貢献ですが、論文化することで初めて神経内科学に貢献することができます。珍しい症例、示唆に富む症例を見たときは、「臨床神経学」にどんどんと症例報告をして下さい。もちろん研究報告や総説も大歓迎です。

(神経内科専門医数をご教示下さったアジア圏の友人で神経内科医の先生方に感謝します)

(西野 一三)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」	第58巻 第2号	平成30年2月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		高 橋 良 輔
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>